

新庁舎建設基本構想策定に関する「アンケート」及び「意見の募集」結果について

1. 実施概要

1-1. 目的

気仙沼市新庁舎建設基本構想策定にあたり、新庁舎建設の基本理念や基本方針，導入する機能・性能，候補地選定の考え方について，市民の意向や意識を把握することを目的とする。

1-2. 内容

【「市民との意見交換会」の案内者及び傍聴者へのアンケート】

(1) 案内者：141名

※『震災復興計画』『まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「総合戦略」』『第2次総合計画』などの計画策定，進行管理に携わられた方々（約140名）並びに高校生（1名）

- ① 回収数：35通（うち無記名1通含む）
- ② 期間：令和元年8月25日（日）～令和元年9月13日（金）
- ③ 配布方法：郵送配布
- ④ 回収方法：「市民との意見交換会」の会場内アンケート回収箱に投函または，市内8箇所に設置する回収箱に投函するか，担当部署へ直接提出

(2) 傍聴者：42名

- ① 回収数：8通（うち無記名1通含む）
- ② 期間：令和元年8月25日（日）～令和元年9月13日（金）
- ③ 配布方法：会場内で直接配布
- ④ 回収方法：「市民との意見交換会」の会場内アンケート回収箱に投函または，市内8箇所に設置する回収箱に投函するか，担当部署へ直接提出

【全市民を対象とした「意見の募集」】

- ① 回収数：84通（うち無記名12通含む）
- ② 期間：令和元年9月2日（月）～令和元年9月13日（金）
- ③ 配布方法：市ホームページからダウンロード，または市内21箇所で直接配布
- ④ 回収方法：市内21箇所に設置する回収箱に投函

1-3. 設問

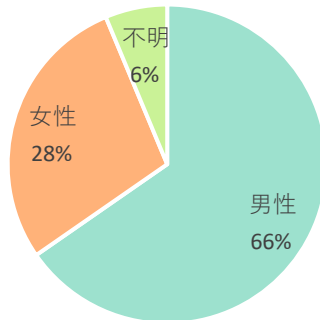
設問項目は以下のとおりである。

カテゴリ	問番号	設問内容	備考
庁舎位置の基本方針について	問 1	庁舎位置の基本方針に対するご意見	自由記述
庁舎機能・性能の基本方針について	問 2	庁舎機能・性能の基本方針に対するご意見	自由記述
未来の気仙沼市民に残したい市庁舎について	問 3	どのような市庁舎を未来の気仙沼市民に残したいと思うか	自由記述
回答者属性	問 4	住所/氏名/性別/年齢	選択式, 一部記述
	問 5	市役所（本庁舎）の利用頻度	選択式
	問 6	市役所への交通手段	選択式
自由意見	—	その他ご意見	

2. 「アンケート」及び「意見の募集」の結果

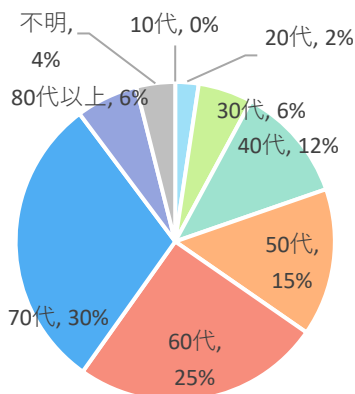
2-1. 回答者の属性（無記名者 14 通含む）

■ 性別



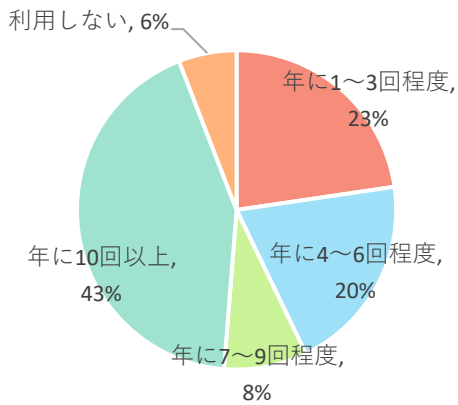
1	男性	83
2	女性	36
	不明	8
	計	127

■ 年齢



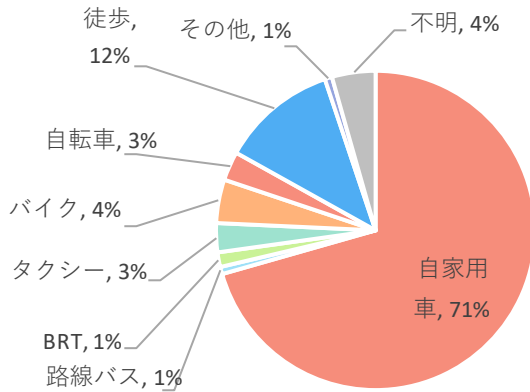
1	10代	0
2	20代	3
3	30代	7
4	40代	15
5	50代	19
6	60代	32
7	70代	38
8	80代以上	8
	不明	5
	計	127

■ 市役所（本庁舎）の利用頻度



1	年に1~3回程度	27
2	年に4~6回程度	24
3	年に7~9回程度	10
4	年に10回以上	51
5	利用しない	7
	不明	8
	計	127

■ 市役所への交通手段



1	自家用車	96
2	路線バス	1
3	BRT	2
4	タクシー	4
5	バイク	6
6	自転車	4
7	徒歩	16
8	その他	1
	不明	6
	計	136

※複数回答あり（回収票数と合計に差がある）

2-2. 寄せられたご意見の概要

■ 問1：「庁舎位置の基本方針」に関するご意見について

庁舎位置の基本方針

- 方針1 「市民が利用しやすい位置」
- 方針2 「防災上の安全性が高く、防災上の連携を考慮した位置」
- 方針3 「市全体のまちづくりを考慮した位置」
- 方針4 「事業の経済性等を考慮した位置」

上記の方針毎に集約したご意見は下記のとおりです。なお、それぞれの方針に正対していないご意見などは、該当する方針または、自由意見と合わせて集約しております。

方針1 「市民が利用しやすい位置」に関するご意見

- ・ 市全域から自家用車を利用した場合でも、誰もが行きやすく、三陸道や国道45号から近く、主要道路を含む一般道からもアクセスのしやすい利便性のよい位置（27件）
- ・ 周囲も含め広い土地で、十分な駐車場も確保できる位置（24件）
- ・ 公共交通機関を利用し、降りた駅やバス停等からも行きやすい位置（9件）
- ・ 道路環境が良く、渋滞が発生しにくい位置（7件）
- ・ 市全体の中心的な位置で、市役所への用件のあとの買い物にも便利な位置（6件）
- ・ 徒歩や自転車、車椅子利用者でも高低差が少なく行きやすい位置（5件）
- ・ 建設位置周辺の道路改良も必要である（5件）
- ・ 広い敷地がある高台が良い（3件）
- ・ 各種申請などICT化により将来は市役所に行かなくて済むのではないかと（2件）
- ・ 庁舎建設後に、道路整備などを検討することはあってはならない（1件）
- ・ 冬期間でも路面凍結の心配もなく、安心して行ける位置（1件）
- ・ 観光客にもわかりやすい位置（1件）
- ・ この方針で良い（15件）

方針2 「防災上の安全性が高く、防災上の連携を考慮した位置」に関するご意見

- ・ 想定以上の自然災害にも強く、影響の少ない位置（16件）
- ・ 防災センター、警察、消防など、他の防災関連機関と近く、連携できる位置（11件）
- ・ 高台にある場所（9件）
- ・ 災害時においても防災拠点機能が確保できる位置（6件）
- ・ 災害時においても交通アクセスが確保できる位置（3件）
- ・ 周辺からも安心して市役所に避難できる位置（2件）
- ・ 災害時に渋滞が発生しにくく、主要道路や三陸道ICに近く市街地から外れた位置（1件）
- ・ いかなる災害にも安全確保の説明ができる位置（1件）
- ・ 海や山から離れた位置（1件）
- ・ この方針で良い（22件）

方針3 「市全体のまちづくりを考慮した位置」に関するご意見

- ・ 市の中心地にふさわしく、市の顔として将来を見据えた位置（9件）
- ・ 商店街との連携が期待される位置（6件）
- ・ 分庁舎化も検討し、分散することで市全体のまちづくりにもつなげて欲しい（6件）
- ・ 市全体の将来の発展性を考慮した位置（4件）
- ・ コンパクトシティを目指したまちづくりができる位置（4件）
- ・ 中心市街地の空洞化、商店街の衰退という地域経済への影響に配慮した位置（3件）
- ・ 100年の大計で考えること（3件）
- ・ かつての中心市街地にこだわらず、人口重心点を考慮した位置（2件）
- ・ 他の公共施設や商業施設などの集積を考慮し、市民の便宜性が図れる位置（2件）
- ・ 市役所庁舎はランドマークであり、気仙沼の顔としてどこからでも見え、新たなまちの賑わいが創出できる位置（2件）
- ・ 三陸道のICから近い位置（2件）
- ・ 市庁舎がまちのにぎわい創出に貢献するとは思えない（2件）
- ・ 全ての市民が恩恵を受けられる位置（2件）
- ・ 将来的にも、歴史的や文化的、更には現在進んでいる新たなまちづくりにも考慮した位置（1件）
- ・ 内湾地区の新たなまちづくり計画のもと、気仙沼駅からの動線上を考慮した位置（1件）
- ・ 市の将来のまちづくりを見据えた位置（1件）
- ・ 市の将来を見据え、古い慣習に縛られることのない位置（1件）
- ・ 駐車場の少ない商店街にも行きやすくなるよう、広い駐車場を確保可能な位置（1件）
- ・ 買い物や遊びに行くエリアにあると市役所が身近に感じられる（1件）
- ・ 震災復興のシンボルとなる位置（1件）
- ・ 他の公共施設等と近い位置（1件）
- ・ 海が見える、または海まで近い位置（1件）
- ・ この方針で良い（15件）

方針4 「事業の経済性等を考慮した位置」に関するご意見

- ・ 新たな場所へ建設することで引越は1回で済むし仮庁舎は必要ないので、移転費を大幅に抑えられることとなる（10件）
- ・ 経費面だけを考えず今後の利便性を考慮すれば、投資はやむを得ないので、しっかりしたものを整備し次世代に残せる位置（7件）
- ・ 既存建物の一部を利用することで、建設費が抑えられる位置（6件）
- ・ 市民への無駄な経費負担を強いることのない、経済性に優れた位置（5件）
- ・ 経済性だけ考えれば、新庁舎規模は必要最小限とし、唐桑、本吉総合支所や既存施設を活用することにより、事業費は抑えられる（4件）
- ・ 早期整備は必要だが、予算が厳しいのであれば少し様子を見ることで、人口が減れば職員も減ることになるので、小さな庁舎で間に合うかもしれないのでしっかり議論して決定して欲しい（3件）
- ・ 概算事業費を提示されないと判断がつかない（2件）
- ・ 必要な場所に必要な建物を長期間使用するためには、建物解体費や引越、仮庁舎などの移転費は当然必要となる（1件）

- ・ 当初建設費だけではなく、ランニングコストや将来のメンテナンス費用等を含めての検討が必要である（1件）
- ・ 新庁舎整備は市の財政のみならず、周辺地域に対する影響も大きいものと思う（1件）
- ・ 旧市立病院跡地は、一般的には買い手がつかない場所と思う（1件）
- ・ 既存建物の解体費は、どこになっても同じ結果になるので、あまり考えない方がよい（1件）
- ・ 土砂災害への防護工事や仮庁舎の費用を考慮すべきである（1件）
- ・ 旧市立病院跡地は、一部民間所有地も含まれているが、今回検討する基本的考え方では「公有地とする」とあるが、旧市立病院跡地を除く条件にしてはならない（1件）
- ・ 人口減少を考慮したまちづくりをして欲しい（1件）
- ・ この方針で良い（15件）

■ 問2：「庁舎機能・性能の基本方針」に関するご意見について

庁舎機能・性能の基本方針

- 方針1 「市民の利便性の向上や協働空間を提供する庁舎」
- 方針2 「誰にでもやさしいユニバーサルデザインの庁舎」
- 方針3 「市民の安全・安心を支える防災機能が充実した庁舎」
- 方針4 「環境にやさしくランニングコストを考慮した庁舎」
- 方針5 「機能的で効率的な行政機能を実現する庁舎」

上記の方針毎に集約したご意見は下記のとおりです。なお、それぞれの方針に正対していないご意見などは、該当する方針または、自由意見と合わせて集約しております。

方針1 「市民の利便性の向上や協働空間を提供する庁舎」に関するご意見

- ・ 市役所は市の顔、高齢化も見据え、明るく誰もが利用しやすい配置と気軽に市民が笑って集える庁舎を実現して欲しい（14件）
- ・ 総花的にならず、施設はシンプルにスリム化にし、大きな立派な建物ではなく、20年30年先の将来の人口減少を見据えた必要最低限の機能でよい（8件）
- ・ 総合的な窓口の設置を願う（7件）
- ・ 第二庁舎裏にBRT駅を設置して欲しい（7件）
- ・ 庁舎内に銀行、郵便局、コンビニ、食堂、カフェ等の施設の併設を視野に入れるような表現が必要（5件）
- ・ Wi-Fi機能の設置が必要である（2件）
- ・ 「市民が集い、憩い、まちづくりやコミュニティ活動などにも活用できる空間や場」は市庁舎ではなく、市民会館、公民館、コミュニティセンターで考えたらいいのではないかと（2件）
- ・ 外国人も利用しやすく、分かりやすい相談窓口などの設置が必要（2件）
- ・ 定例的で単純な窓口業務などは、機械化やAIなどIT技術導入による対応とし人件費を含めた経費削減を目指して欲しい（2件）
- ・ ワンストップ化の総合窓口の推進のためにも、すこやか（健康増進課）の窓口機能も新庁舎に盛り込むべき（1件）
- ・ 総合的に考えれば、すべては市民の利便性のためである（1件）
- ・ 「人づくりは街づくり」として、職員の対応や人との接し方も大事である（1件）

- ・ おしゃれなデザインや行きたくなる気持ちの創出も重要と思う (1件)
- ・ 国県レベルの用件も可能な限り市役所で出来れば、尚利便性の向上につながる (1件)
- ・ 人口減少を見据え来庁者への配慮は十分に、しかし廃校舎等を活用すれば広さは抑えることが出来るのではないかと (1件)
- ・ 市民が集い憩える空間は、屋内のオープンスペースでは、照明、空調など費用がかかるので、屋外の散策路や野外施設等の検討も必要である (1件)
- ・ 利便性のみならず、堅実で実用性のある特性を持たせた庁舎が望ましい (1件)
- ・ 市民が来所した際、担当者と気軽に接することができ、身近に感じる場所が必要である (1件)
- ・ ニーズの変化に柔軟に対応できる施設の工夫が必要 (1件)
- ・ 多機能な設備を備えた庁舎 (1件)
- ・ 子育て世代の交流ができるスペースを兼ね備えた庁舎 (1件)
- ・ 将来のまちづくりやコミュニティ活動ができる庁舎 (1件)
- ・ 市民が集う場所にするならば、計画台数以上の駐車場確保が必要 (1件)
- ・ 親の迎えを待つ学生が待機できる空間の確保 (1件)
- ・ 資料、図書閲覧室の設置 (1件)
- ・ 職員と市民が親しく研修ができ、会議可能なリラックス空間の設置 (1件)
- ・ 「集い・憩い・コミュニティ…」は余程吟味しないと中途半端になりがちなので、半端な箱物にならないように割り切った方が良い (1件)
- ・ 市民が自主的に利用可能なフレキシブルな会議室が沢山あると良い (1件)
- ・ 無料駐車場やイベント広場等、周りの民間施設等との連携も必要であり、十分な広さの敷地が必要 (1件)
- ・ 集える空間がただの溜まり場にならないか心配であり、庁舎管理上の問題も想定するべき (1件)
- ・ 庁舎に他の用途や多機能性を求めるより、行政事務機能の効率化を重視した施設とすることが必要 (1件)
- ・ この方針が良い (22件)

方針2 「誰にでもやさしいユニバーサルデザインの庁舎」に関するご意見

- ・ ユニバーサルデザインは、当然取り入れなければならないので、高齢者や障がい者を考慮したバリアフリー化への対応なども含めて専門家の意見を聞いてはどうか (7件)
- ・ 様々な年代の市民が気軽に安心して利用できる施設にして欲しい (5件)
- ・ デザインも大事だが、職員の接遇のレベルアップが必要である (3件)
- ・ ユニバーサルデザインは、施設内だけでなく、公共交通機関の乗降場所から庁舎までの動線にあたる道路や歩道への点字ブロック、段差、坂道の斜度等を考慮する必要がある (2件)
- ・ 各種案内表示などは、弱視者や高齢者のためにも遠くからでも視認でき、立体的で大きく表示して欲しい (2件)
- ・ キッズスペースの設置が必要である (2件)
- ・ 外国人へも配慮した多国語表示が望ましい (2件)
- ・ 一般的なオフィスの外観スタイルやデザインとし、余分なコストを掛けない庁舎が良い (2件)
- ・ ユニバーサルデザインを活かせる人材の雇用や育成を頑張って欲しい (1件)

- ・ 責任を持って見守る人が居ないキッズコーナーや過去の記念品を置いただけの展示スペースはなくていい (1 件)
- ・ 授乳室や障害者のオムツ交換など、マイノリティの人達も利用しやすい工夫が必要である (1 件)
- ・ 窓口関係など、市民の利用頻度が高い部署は、1 階に設置して欲しい (1 件)
- ・ 公共交通機関の玄関までの乗り入れの検討が必要である (1 件)
- ・ 弱い立場の方々に配慮した、市民目線で利用しやすい施設にして欲しい (1 件)
- ・ 特に高齢者や少子化対策に向けた子育て世代の利用が便利になる様にして欲しい (1 件)
- ・ 若者の意見や感覚を取り入れ、親しみやすいデザインや明るい庁舎が望ましい (1 件)
- ・ 地域で遅れている障害者雇用を推進するため、バリアフリー化した市庁舎とし、市が率先して障がい者が働きやすい環境を整備すべき (1 件)
- ・ 初めての人も分かりやすい庁舎 (1 件)
- ・ まちの魅力等を展示する場所の設置 (1 件)
- ・ 他自治体の庁舎の良いところを取り入れる (1 件)
- ・ 建物は田舎風の優しいデザインが良い (名のある先生は要らない) (1 件)
- ・ 各種手続きをする庁舎と、まちづくりやコミュニティ活動をする庁舎を分けた方が良い (1 件)
- ・ 画面でのインフォメーション等も検討してはどうか (1 件)
- ・ エレベータを設置して欲しい (1 件)
- ・ この方針で良い (31 件)

方針3 「市民の安全・安心を支える防災機能が充実した庁舎」に関するご意見

- ・ 他の防災関連機関等と連携しやすい庁舎 (5 件)
- ・ 災害時に、市民生活の復旧環境が円滑に整うとともに、上水道や電気などライフラインの継続使用ができる機能も必要である (4 件)
- ・ いざという時に避難場所にもなる様なゆとりを持った庁舎 (4 件)
- ・ 災害時に、迅速に対応できる施設にして欲しい (2 件)
- ・ 災害による道路の寸断などを想定し、ヘリポートの設置が必要である (2 件)
- ・ 常日頃から市民が「災害があった際はまず市役所に行けば何とかなる」という庁舎であって欲しい (1 件)
- ・ 災害による停電時も含め、情報収集と NET-TV や災害 FM を活用した災害情報発信が図れるシステムの構築が必要である (1 件)
- ・ 災害対策の1つとして、最弱者だけでも一時避難できる機能を備えた空間の設置が必要である (1 件)
- ・ 観光客の一時避難場所にもなれる機能が必要である (1 件)
- ・ 災害対策本部は、建物の上位の階に設置すべきである (1 件)
- ・ 災害時のため、備蓄倉庫も必要である (1 件)
- ・ 費用対効果を検証しながら進めて欲しい (1 件)
- ・ 通常は別の用途に使い、災害時には中枢施設となる別の施設を検討すべき (1 件)
- ・ 自然災害は予想できないので程々でよい (1 件)
- ・ 市内全域の被害状況を把握するため固定カメラを設置すべき (1 件)
- ・ この方針で良い (30 件)

方針4 「環境にやさしくランニングコストを考慮した庁舎」に関するご意見

- ・ 維持管理のしやすさ、維持管理負担の低減が必要である（5件）
- ・ 太陽光発電等については、費用対効果を十分に比較検討する必要がある（4件）
- ・ 太陽光発電等の蓄電池を設置し、災害時にも活用できればよい（3件）
- ・ 初期投資よりもランニングコストを抑えることが重要である（3件）
- ・ 地元産の木材の利用など地域資源の活用や地域経済の活性にもつながる計画が必要である（2件）
- ・ 自然を大切にした環境にやさしい庁舎（1件）
- ・ 総花的にならず将来を見据えたシンプルな施設でいい（1件）
- ・ 太陽光発電、風力発電、蓄電装置、雨水を利用した中水道などを備える必要がある（1件）
- ・ 太陽光発電などの設備は、コストと発電効率の不安定さがあるため推薦しない（1件）
- ・ 自然エネルギーの採用はよいが、創エネについては、発電設備のメンテナンス費用も考慮する必要がある（1件）
- ・ ホールなどの空間は必要最小限とし、効率的な空調や照明対策を施す必要がある（1件）
- ・ 全ての建物や機械には、メンテナンスが必要である（1件）
- ・ 緑を多く使い、目にもやさしい環境にする（1件）
- ・ 長期に渡り使用できる庁舎（1件）
- ・ 市民の負担を増やしてまで環境に優しくする必要はなく、市民の負担が最小になる事を第一に考えて欲しい（1件）
- ・ 電力料金の安い時間帯に蓄電するシステムの導入（1件）
- ・ この方針で良い（36件）

方針5 「機能的で効率的な行政機能を実現する庁舎」に関するご意見

- ・ 維持管理しやすいシンプルな建物、無駄なスペースが発生しにくい形状の建物がよい（7件）
- ・ どんなに機能的で柔軟性が高くてもそれを使う人間次第ではないか（7件）
- ・ IT（技術と情報）とAI（人工知能）、無線Wi-Fiなど、最新の情報通信技術設備等を導入し、業務の効率を図る必要がある（4件）
- ・ 必要最低限の簡素な事務室にすべき（4件）
- ・ 市職員も仕事をしやすく市民も快適に過ごせる庁舎（4件）
- ・ 設計段階では、近い将来の人口減により職員定数及び議員定数の減少が必須であるため、部署の再編や統合なども視野に入れたスペース規模と配置を考慮する必要がある（2件）
- ・ 市長室、副市長室などは市民に近いと感じられることが望ましい（2件）
- ・ 庁舎で働く方々の仕事のしやすさを考慮した施設（2件）
- ・ 行政機能の分散は避けるべき（1件）
- ・ 通信設備の更新を考えたフリーアクセスフロアの導入（1件）
- ・ 情報通信技術については、費用対効果について特に慎重に検討して欲しい（1件）
- ・ 資材、資料等の保管スペースの確保として、既存の廃校舎等を活用するなど効率的な検討も必要である（1件）
- ・ 不要な文書や物品の削減を図るべきである（1件）
- ・ 執務室のオープンフロアはよいが、職員対応の強化やペーパーレス化など、ソフト面の改革も必要である（1件）
- ・ 民間の経営手法を導入してはどうか（1件）

- ・ 人の流れを考慮し、誘導する配置が必要である（1件）
- ・ 職員のメンタルヘルスケアのため職員の休憩スペースも必要である（1件）
- ・ 職員の席はフリーアドレスを採用するなどして職員間のコミュニケーション、省スペース化を図るべき（1件）
- ・ 今後の変化や需要は予測できないものもあり、様々な変化に対応可能な設備など想像できない（1件）
- ・ この方針で良い（29件）

■ 問3：どのような市庁舎を未来の気仙沼市民に残したいと思うか

- ・ 市民が誇りや親しみをもって眺めることができ行きやすく、気仙沼を訪れた人も行きたいと思える庁舎（7件）
- ・ コストのかからないエコ庁舎（4件）
- ・ 広い建物、広い駐車場（3件）
- ・ 可能な限り後世（市民・若者・子孫）に借財を残さない、経済的な庁舎（3件）
- ・ 市民の安全安心を共に歩める、災害に強い庁舎（3件）
- ・ 働く人の気持ちが一番大事（2件）
- ・ 子供達が、思わず通いたくなりここで働きたいと憧れを持てる庁舎（1件）
- ・ 官民がいつでも相互に交流でき開かれた庁舎（1件）
- ・ マイノリティも大切にされている「まち」の象徴となるような庁舎（1件）
- ・ 身近に行政があると感じ安心して暮らせることを感じられる庁舎（1件）
- ・ デザイン性と機能が備わり、高齢者や障がい者にも使いやすい庁舎（1件）
- ・ 後々、歴史的建造物として、世界文化遺産にもなれるような庁舎（1件）
- ・ 市民ファーストで素晴らしい人材が揃っている庁舎（1件）
- ・ 気仙沼市感たっぷりの「おらほの市役所」といえる庁舎（1件）
- ・ 機能性、移動の動線が短くまとめられたビル形式の庁舎（1件）
- ・ 働く場所がなく気仙沼を離れる若者、トップセールスによる企業誘致する活動を考えると、「各企業がテナントとして入るサテライトオフィス」、「テレワーク利用できるスペース」がある庁舎（1件）
- ・ 縮小する地域の中で、不要かもしれない機能を備えた庁舎（1件）
- ・ 役人天国ではなく市民目線を大切にされたカタチの庁舎（1件）
- ・ 合理的にコンパクトな庁舎（1件）
- ・ 庁舎の一角に港町にふさわしい灯台を兼ね備えたタワーを設け、航行する船へのシグナルにもなり観光に役立つ庁舎（1件）
- ・ 海からの目線、どこからでも眺められる場所（1件）
- ・ 「お金をかけなくても理想に近い庁舎が出来た」と、これが現在取り組んでいる人達が、英知の賜物と語り継がれる庁舎（1件）
- ・ 著名な建築家により設計された庁舎（1件）
- ・ 優しい温もりを兼ね備えた庁舎（1件）
- ・ 自然災害に対応出来る体育館のような建物が庁舎の側に1棟あると何かと便利（1件）
- ・ 海と対比の「山」で、岩手県住田町役場のように国産材、地元材をふんだんに使ったプラン、設計（1件）
- ・ 誰でも気軽に行って相談や申請が出来る、明るい庁舎（1件）

- ・ 将来にわたり使い継ぐ市庁舎として市民が親しみを持てる庁舎デザイン（1件）
- ・ 少子高齢化は確実ですから税収減を踏まえ極力省コスト運営できるような設備にするべき（1件）
- ・ 市街の中心にあり市民が行きやすく利便性を考慮した庁舎（1件）
- ・ コンパクトで利用しやすく負債は残さない，修繕費も多くかからない庁舎（1件）
- ・ 公共交通機関及び自家用車でのアクセスがよく，広い駐車場もとれ，一般市民が気軽に行ける広さの充分とれた庁舎（1件）
- ・ 出来るだけ多くの人が容易に利用できる市庁舎と場所であって欲しい（1件）
- ・ 見た目ではなく無駄のないスマートな庁舎（1件）
- ・ 市民が心から親しみを持ち，行き来が出来る庁舎（1件）
- ・ 若い人，子ども，高齢者など幅広い世代に，たくさん利用しやすい庁舎（1件）
- ・ 市民が便利で色々な面で良くなったと感じられる庁舎（1件）
- ・ 災害時に防災拠点として，迅速な指令機能を確保できる庁舎（1件）
- ・ 老人から子供まで誰が行っても憩いの場になれる様な，楽しい庁舎（1件）
- ・ 職員が働きやすい庁舎（1件）
- ・ 開かれた市役所，情報発信の場（1件）
- ・ 職場環境の改善，働き方改革の底上げ（1件）
- ・ バリアフリーの徹底（1件）
- ・ 様々な施設が集まった利便性の高い庁舎（1件）
- ・ 耐用年数が長く，質が高い庁舎（1件）
- ・ 社会の変化，また自然の変化に対応出来るやすい庁舎（1件）
- ・ 訪れた人すべてに安心や憩いが得られるような内外装，間取り，造形等に配慮した庁舎（1件）
- ・ 身の丈にあった庁舎（1件）
- ・ 市民以外にも気仙沼を知ってもらえるような庁舎（1件）
- ・ 木材は気仙沼市産材や宮城県産材の使用を検討して欲しい（1件）
- ・ 東日本大震災を風化させないため，玄関ホール等に関連するレリーフかモニュメントの設置と，東日本大震災で犠牲となった市職員を弔う慰霊碑を敷地内に設置（1件）

■ 自由意見

- ・ 市民の意見を募集するこのような機会があり、嬉しいです
- ・ 若者、女性などがもっと参加して積極的に意見が交わされ、若者や女性の目線も反映されれば良いと思う
- ・ 内湾エリアには、交流プラザや商業施設が建設され、金融機関も再建中で街の機能が集約されつつあるが、これは市役所が近隣にあるということも作用されていると思う
- ・ 基本的に本吉支所、小泉公民館で用が足せるので、支所、公民館機能の充実を求める
- ・ 耐震の面でも危険性大であり、そこで働く方々の心情を考えると、一刻も早く場所を決定し建設に取り組むべきと考える
- ・ 今回のアンケートは記述式だったので、記名制が良かったと思う
- ・ 事業費や財源などが明示されていない
- ・ 今後何十年も使用される庁舎なのだから、市長の意見や職員の意見を密に取り合うような場が必要ではないのか
- ・ 記述のみのアンケートもそれだけで興味がそがれるが、今後の進め方に期待したい
- ・ せめて各地区の説明会を開き、市民への十分な告知と多くの市民の意見の集約を図るべきと考える
- ・ 望むなら択一式により、より明確に数値化でき、わかりやすいアンケートが望ましい
- ・ 有識者会議の議事録を開示して欲しい
- ・ 人も物も共に頑張れるような灯台のように市民に対していろいろな情報を発信していくために頑張ってもらいたい
- ・ 行政機能、行政サービスの充実が一番肝心と思います
- ・ このアンケートでは都合の良い方に解決するのはないか、と心配です
- ・ 3候補地とも周辺道路の改良は必要であり、共に一長一短がある
- ・ 将来の建替のことも考え、敷地面積は多くとり、交互に建替えることも必要である
- ・ 行政の立場として正確な事実確認に基づいてしっかりとの方針説明を行い、十分に市民が理解、納得できることが重要
- ・ 新庁舎完成も1つの区切りになると思いますので、スケジュール遅延などで、市民の士気が下がることが無いようにしてください
- ・ このアンケートは非常に答えにくく、回収率の悪い形となるのではないかと
- ・ 住民投票を行った方が良いと思います
- ・ 気仙沼市の歴史風俗に地政学的（地理的経済的）要素など、地元の豊富な経験やノウハウを建築の専門家たちと比較検討して欲しい
- ・ 3候補地とも一長一短ありどこでも良い
- ・ 今更だが気仙沼駅前災害公営住宅の場所が良かったと思う
- ・ 市役所まで行けるシャトルバスなどがあれば良い
- ・ 市役所機能毎に適宜分散し、1カ所あたりの設置費用の徹底した削減を提案します
- ・ 現位置のある三日町、八日町の県道の幅員では、徒歩や自転車などでも安全安心に行き来できない
- ・ 現市役所、旧市立病院敷地までの坂道の改善が必要と考える
- ・ できれば市民会館を平坦地に移設してほしい、駐車場がなく障がい者にとって利用しづらい
- ・ 現位置のワン・テンビル 1階が浸水区域である為、階によつての機能の検討が必要であるが、上の階が避難場所となると良い

- ・ 自然災害の備えについては、建物の強度や地盤の強化などの対策をする必要はあるかと思うが、市民のアクセスの利便性を考えると高台への移転は不要と考える
- ・ 気仙沼公園では冬の積雪、坂の路面凍結が心配
- ・ 旧市立病院の位置は、十字路の交差点が多く歩行者と車の交通事故が懸念される
- ・ 防潮堤も整備されたので現在の場所でも安全なのではないかと考える
- ・ 他の防災拠点との連携は通信手段をしっかりとる事、組織間のソフト的な問題をシミュレーションし、抽出しておく事が大切
- ・ 片方をたてれば、片方が成り立たないので、綱引き合いをせず有識者会議委員の勇気ある英断を求めます
- ・ そもそも論で、何故今の位置に建て替えないのか疑問である
- ・ 現在の市役所の位置は市全体というよりも、気仙沼地区（旧市街地）を中心としたまちづくりに貢献しているものと理解している
- ・ 気仙沼地区（旧市街地）でない地区からみれば、気仙沼地区（旧市街地）は既に「にぎわいの創出」は充分されているものと感じる
- ・ 田谷に作れば、田谷地区商店街は発展するが、八日町はさびれる
- ・ 現在地から移転となれば、さびれる点を心配する商店街には同情もするが、他の商店街と同等になるだけの事である
- ・ 現在の商店街や主要施設の近くにあえて建設する必要はないと思う、多少離れていても通信手段がしっかりしていれば連携できる
- ・ 河原田付近に商店がない、商店街の復活と内湾商店街があれば賑わうのでは
- ・ 中心街から離れた場所に建設した場合、新たなインフラ整備で副次的な費用がかかることも想定される
- ・ 早期の方針決定並びに、市民への周知があれば充分と考える
- ・ 現状の候補地それぞれの利点や欠点を分かりやすくまとめた方が考えやすくなるのでは
- ・ 市庁舎や市立病院（移転済み）が与える影響が大きい事は、誰もが以前から分かっていた事なのに、今まで何の話し合いや意見交換が無かった事が不自然である
- ・ お金が掛からない位置に整備することの重要性も一定程度は理解するが、必要な機能、課題解決などが置き去りにされるのは本末転倒ではないか
- ・ 旧市焼却場のように廃墟を長年放置するような失敗をしないように、使命の終わった建物は即時解体し土地を有効活用する
- ・ 今流行りの物で飾るのではなく大地より盛り上がるような風景、日本一の漁港、日本一の気仙沼に応援致します
- ・ 現庁舎が古く耐震補強もされていないことも念頭に置きつつ広く市民から意見を集め経済性を考慮すべき
- ・ 新庁舎の財源は復興予算ではないのですか
- ・ 新庁舎の位置が現庁舎の解体費にどう影響するのか分からない
- ・ 財政は防衛費からけずれ
- ・ 本来であれば最初に、市役所のあるべき場所、姿を示しそれから街づくりの計画を検討すべきであろうと思う、それをせずに最後になり「市役所どこに？」など裏切り行為の何物でもない
- ・ 他の防災拠点との関係性だけではなく、発災時の交通についてのシミュレーションなどを示すべきではないか
- ・ 路面凍結の問題、高齢者ドライバーの来庁時の事故予防についても配慮されるべきではないか

- ・ 地域経済に与える影響にも配慮すべきではないか
- ・ ドーナツ化が顕著であることを人口重心点が示している，中心部の活性化につながるような庁舎位置にするべき
- ・ 旧市内より周辺地区の皆さんの意見を聞いて欲しい
- ・ 周辺住民の再開発に対する意欲の強さが重要な決定要素となるのでは
- ・ どの場所にしても建物に行くまでの道が狭すぎ，自家用車以外の交通手段，例えば BRT の駅からはどの場所も 20 分前後かかる，また東日本大震災クラスの津波では，防災センターとの連携や道路利用に対する不安が残る，だからこそ候補地周辺の人口，施設，商店，工業等を含めた情報提供が必要である，また今回選択されなかった場所の活用法に対する計画の有無に関しても知りたい
- ・ 将来的に長く使用する事を考えれば，例え最安最短でなくとも，適切な決断が必要と考える
- ・ 市の施設は他に唐桑総合支所，本吉総合支所があり，これらの 2 つの支所についても，今後どのようにするのか見定めていかなければならないと思う
- ・ 必ず年月が経てば老朽化し，いずれは建て替えや移転の問題は避けられないので，今後はその後の事も考えるとともに，未来を生きる若者たちが住みよい町と思える様な町づくりを考えてもらいたい
- ・ 旧市立病院北病棟に関してはまだ借金があるので，その事はどう処理していくのか？財政の事を本当に考えているのか疑問，毎年 1 億円の積立をしていると言うが，市立病院建築時も報道では経営的に大丈夫という記事があったが，実際は赤字経営になっており，この事実をみてどう判断すれば良いのか
- ・ 最近，宮古の市役所に行って来たが，玄関に入った瞬間ゆったりした感じが伝わり，子供たちも遊べる感じであった，2 階にも喫茶店風なところもありゆったりしていたので，市民の皆様がいつも利用できる場所であって欲しい
- ・ 気仙沼市の特徴は魚市場と市役所，郵便局，呑み場，商店が海の近くに集中しているところであり，ちなみに石巻市は魚市場と商店が離れた位置にある，古くからの人が決めた市役所庁舎の位置は動かさない方がいい
- ・ 市民病院跡地はありえない一番の場所，経済性も悪いのではないか
- ・ 震災の時は現在の市役所は多くのお役になったと思いました
- ・ 津波は役所の上まで来なかったのが幸いと思ったが，その時市役所は修羅場であり，震災のお世話ご苦労様でした
- ・ 気仙沼の市民はすばらしい，安婆山を中心に団結する習いに心が打たれた
- ・ 太平洋に向かってバンザイ，神的な元日が今も宝です
- ・ 「霊峰の安婆山より太平洋はるかに拝す気仙沼市民」1 首
- ・ 完成目標を令和 7 年度に限定することなく，住民理解を受けた手順で建設を推進して欲しい
- ・ 気仙沼市の「にぎわい」は「南町」と「田中前」の 2 つの軸を中心とすべきと考える
- ・ 新庁舎位置は，いずれ三陸道の気仙沼インターに近い国道 45 号線沿いの高台であろうと見込んでおり，市全体の面積・人口分布から勘案しても，現在地より南下するのは自明の理であり，気仙沼の地形を見渡し，合併市民全体の理解を得られる場所が一番であることから，この 3 つの候補地では後世に悔いを残すのではないか
- ・ ドラゴンパークまで広げて設計して欲しい
- ・ 八日町大通りは道路のセットバックが決められているが，バックロードと共に庁舎の新築により勢いを加速させて欲しい

- ・ 旧市街地は公共施設が長年に渡って郊外へ移転して、寂れているので、一つでも多くの機能を戻して欲しい
- ・ 基本方針からは市庁舎を移動させて気仙沼市の中に人為的、し意的に賑わう特定の地域を作ろうと言う意図を感じる
- ・ 現在地は東日本大震災をきちんと乗り切ったと言う事実や、それに対する敬意が全く無く、地元住民として残念に思うし、特定した地域の発展ではなく均衡ある市の発展を望む
- ・ 昨今の大雨による大川の氾濫が想定されるが、田中地区の水没のリスクに全く触れられていないが当然想定されるべきと思う、想定外でしたでは許されない、市民との意見交換会の資料でワンテン庁舎が津波浸水とあり、ネガティブ要素に上げてあるが、防潮堤と言う対策がほどこされたと言う視点が欠けている
- ・ 有識者会議で検討した結果、建設候補地が3ヶ所に選定されたと報道されていますが、この過程が少し不透明であると思う
- ・ アンケートにこんなに書くのは始めてであり、なぜ○×だけではいけないのか、アンケートはもっと簡単にするのが本当でないか
- ・ 3候補地はいずれも「誰もがいきやすく、利用しやすい位置」とは言えないのでは、「市全体のまちづくりを考慮した位置」を念頭に検討したのか
- ・ 個人的なエゴで左右されてはならない、過去にあったやに聞いている
- ・ 急に思いつき土地選びや、うかつな考えは良くない
- ・ 様々な要件で来庁する方達の特色をつかみ、その使用度を高める方法（例えばミニキッチン設備や乳幼児連れの為のベットや哺乳補助器具等）の部屋を設けても良いのではないか
- ・ 庁舎中央には市政情報等を発信できる多目的ホールや展示スペース、エントランスホールを設置し、正面入口から裏まで通り抜けられ、庁舎前面と後面に住宅や商店があれば、そのエントランスホールは徒歩の生活道となり、さらに芝生公園やモニュメントも有り、軽食も取れる（宮城県美術館裏庭参考）ようになれば市民に親しまれる庁舎となる
- ・ 住民票の発行などは郵便局でも行えるようにすべき
- ・ ワン・テンビルの活用
- ・ 誰にでもという空間は、誰にとっても中途半端で使い勝手が悪い事が多いので、利用見込の当事者の意見を取り入れながら、焦点を絞った空間づくりの設計にして欲しい
- ・ 計画倒れにならないようにして下さい
- ・ 何かを展示する際や行事等がある場合、新聞等に載せても良いと思う
- ・ 市が有している防災機能や体制、災害時の避難対策など、日頃から様々な情報手段を使って、定期的に市民に周知する事が大切
- ・ 防災機能の充実を考えると、現庁舎と市立病院跡地は全面道路まで津波が来た位置になり、この事を考え沿岸から少し離れた三陸縦貫道の周辺地が最適位置となると思う
- ・ BCP 戦略もよく考えるべき
- ・ プラスチック問題にも積極的に取り組んでほしい
- ・ 一日も早く、市民が集う場所として建設にあたって下さい
- ・ 総合的に考えればおのずと早い結果が出ると思います、すべては市民の利便性、職員の働きやすい環境づくり、一市民としてご協力します
- ・ 庁舎機能、性能の基本方針は、あまりにもあたり前すぎで、意見は具体案にこそすべき
- ・ 本来の庁舎機能以外のコミュニティ機能等、集客施設等は極力新庁舎から除外し、決定地以外の市街地再開発機能の一部として活用できるのでは

- ・ 一般市民にはよく分からない法律の裏表の仕組みを職員の方が良く勉強して正しくアドバイスして頂きたい
- ・ 市民との意見交換会が1回だけというのは大問題、若年層が興味ないのか参加が少ないことも課題、これでは”小さな声”は聞こえず、物申したい人だけの意見になるのではと危惧する
- ・ この「6項目」での方針であれば素晴らしい庁舎が完成するでしょう、本当に待ち望みます、大変な職務しっかりやって下さい
- ・ なるべく基本方針に近づけるように努力してもらいたいと思います
- ・ 気仙沼市民会館にあるスタンインウェイ社のグランドピアノは、そのピアノの音色によって被災地の子供たちが元気な歌声を響かせ笑顔になって欲しいという願いが込められたもので、この機会に一般の人たちに使わせて頂けると嬉しいです
- ・ 書庫等は備え付けが理想ですが、後付け購入した場合は職員の命を守るために、倒壊防止をしっかりやって頂きたい
- ・ 緊急時に避難しやすいように、机と机の間隔も余裕を持った方が良い
- ・ 気仙沼の中だけの考えだけで作るのではなく、第三者や外の人からの意見を多く取り入れる必要がある
- ・ 位置はなぜ市民の声を大事に聞き、繁栄させない、政界と一部の財界の考え方で決めているのではないか
- ・ 議会機能として、市民の声を市政に反映し、民主的な議会運営を進めていくために基本となる議場の他、議員が政策執務等を行う委員会室、議員控室、議会図書室等は議会の独立性に配慮し整備が必要
- ・ 新市役所のせめて一階廊下は真っ赤な絨毯に
- ・ 全てが良く皆が使い良いは理想であり限度を程々にして下さい
- ・ 室内設備の充実も結構ですが、適切な職員数と適材適所の職員配置が求められており、特に総合支所から本庁への職員集約化は、地区住民の不公平感を煽っています
- ・ 旧市立病院跡地は民間へ譲ってはどうか、気仙沼公園周辺は道路等最悪で後世に笑われるのではないか
- ・ どこにもないような新しい機能を入れれば良い
- ・ 現位置が良い
- ・ 旧市立病院跡地が良い
- ・ 気仙沼公園が良い
- ・ 旧気仙沼西高等学校が良い
- ・ 条南中学校が良い